

も ぎ た く ま
も ぎ ま ゆ こ

茂木 琢磨 さん(35)
茂木 真夕子 さん(33)

経営概要

- ◆ 地 域 八雲町
- ◆ 栽培品目 醸造用ぶどう 2.7ha
(ピノ・ノワール、シャルドネ、ヤマ・ソーヴィニヨン)
- ◆ 就農年月 令和8年4月
- ◆ 前 職 住宅建築関連業

道南地区
新規就農者
紹介



就農&?A

— 就農のココ
ってどうなの? —

Q 就農を考えたきっかけを教えてください。

A ソムリエ資格を持つ妻の影響でワイン造りに興味を持ち、三笠市のTAKIZAWA WINERYで研修に参加するなど起業に向けた準備を進めてきました。

就農地を検討する中で、果樹栽培の可能性が高まる地元・八雲町に注目し、醸造用ぶどうの試験栽培が行われていることも後押しとなり、就農を目指し八雲町地域おこし協力隊として着任しました。

3年間ぶどう栽培に携わり、協力隊の任期満了をもって就農となりました。

Q 就農して良かったこと、苦労したこと（していること）を教えてください。

●良かったこと

A かつて冷涼な気候から果樹栽培に不向きと言われていた八雲町で、**町内産ぶどうを原料としたワインを造ることができ、その新たな挑戦が町全体に希望をもたらしていること**にやりがいを感じています。

●苦労したこと（していること）

ぶどうの本格的な栽培が八雲町で初の挑戦であるため、**大きな責任を感じていて、畑を活用したイベント開催などの気苦労も多いですが、負けない気持ちを維持**しています。

Q 就農時に利用した制度や支援等があれば教えてください。

- A
- ・ 経営発展支援事業（国）
 - ・ 経営開始資金（国）
 - ・ 起業支援金（国）
 - ・ 新規就農支援資金（八雲町）
 - ・ 日本政策金融公庫（融資）

Q 今後の展望について教えてください。

A 栽培から醸造・販売まで八雲町内で一貫して行える体制を構築し、八雲町の農産物や海産物、乳製品に合うワインを造りたいです。

5年後建設予定のワイナリーは、**町民が関わることができるようなワイナリー**にしていきたいです。

Q 最後に、就農を目指している皆様へアドバイスをお願いします。

A **自己資金は必須です。**融資を受ける場合でも必要となります。

柔軟な発想を持ち、時には遊び心も大切。ぶどうだけでなくトマトやハーブ、バラを栽培してみることで、結果として**土の状態を確認することにも繋がってます。**

Facebook
はコチラ⇒



Instagram
はコチラ⇒

